

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail:kyo.div@city.matsusaka.mie.jp http://www.city.matsusaka.mie.jp

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp



ソチオリンピックが開幕し、さまざまな感動、想いが届けられています。選手の「やったー!」「くやしい」という想いの裏にある、これまで積み重ねてこられた努力は、結果にどう反映されようとも価値あるものであり、家族や関係者、ふるさとの人々、多くの人に支えられているものであることが伝わってきます。

計り知れない重圧の中で、輝くことの難しさ、すばらしさとともに、あきらめずに夢を追い、挑戦し続ける選手が自分を語る言葉に思いをさせます。

選手とともに、応援する側にも吸収させてもらえることが、これからも数多く届けられることでしょう。

記者らみな「瓦礫」と書くに「オモイデ」とルビ振りながら読む人もいる
(朝日歌壇より)

3月11日が近づいてくる中、思い出す歌があります。また、被災後、瓦礫の中から見つけた遺品をじっと手にする方の写真を思い出します。3年の月日が過ぎる中、あの日々を思い出にできない方がいらっしゃる、厳しい現実があることも拝察いたします。

先日、放映された番組「ふるさとを探す心の旅」で、被災地の「ひと・もの・こと」が改めてふるさとを実感させてくれる中、少しずつ、新たな一歩を踏み出されている人々の姿が紹介されていました。日々の生活に流されてしまいがちな自らを省みるとともに、忘れてはいけないことに思いをさせる時を大切にしたいと思います。



「わたしの願い」

《神様が 1日だけ 魔法をかけてしゃべれるようにしてくれたら・・・

お母さんに「ただいま!」って言う》

《魔法が とける前に 家族みんなに 「おやすみ」って言う

それで じゅうぶん》

岸和田市に住む森 琴音さん(12歳)の文です。3歳のとき、不慮の事故に見舞われ、その後遺症で肢体不自由になり、話すことができなくなってしまわれたとのこと。何げない会話でつながっている日々の中、あらためて言葉が持つ力を実感します。琴音さんの心の内は、溢れんばかりの言葉で満ちていることでしょう。言葉の大切さが分かっている琴音さん、ご家族、担任の先生・・・

担任の先生が琴音さんとやり取りする中、じっくり待つことで、紡ぎ出された言葉なのだそうです。

琴音さんの「1日だけ」「それでじゅうぶん」に込められた思い、お伝えできればと思います、載せさせていただきました。

(古戸 陽子)

＊ 松阪教育支援センター「鈴の森教室」・「うれしの教室」 ＊

松阪教育支援センターには、「鈴の森教室」と「うれしの教室」の2つの教室があり、学校・専門機関等と連携して、不登校の子どもへの支援をすすめています。教室に至るまでに、人間関係において深く傷ついたり、自信を喪失したり、それぞれにさまざまな経験をしています。それでも、なお、少しでも動きだそう、自分を変えていこうという思いを胸に、教室に通い始めます。子どもたちの思いや保護者の願いに寄り添い、成長の支えとなるように、指導員が一人ひとりに関わります。指導員との一対一の二者関係から、子どもたち同士の関係へと広がり、教室が安全で安心して過ごせる心の居場所・学びの場所となり、心の回復へと向けていきます。

教室で、子どもたちのさまざまな姿を見ることができます。好きなことに熱中し自信を持っている姿。一つの物を最後まで根気よく作り上げて喜ぶ姿。はじめてのことに挑戦して、失敗を乗り越えてやり遂げた姿。なかまと一緒に楽しく過ごし笑顔になった姿。苦手な科目や問題集に時間をかけて取り組み達成感を得た姿。時には、自分の思いが伝わらない、でも伝えたいと苦しんだり、やってみたいけど、どうしたらいいか悩んだりする姿もありました。このような小さな一つ一つが大切でかけがえのないものになり、子どもたちが自分の力で人生を切り開いていくための、心の貯金として蓄えられていきます。何かを決め選び、試すときに、不安になり失敗することもあります。そんなときに、支え励まし見守るなかまや指導員がそばにいることが、一歩ずつ前へと進む確かな力となることを願っています。

教室は、人生という名の山登りをするためのベースキャンプのようなものです。誰でもない自分だけの生き方やストーリーを作り上げるために、休んで準備したり、人と関わりつながりを持ったり、夢や目標に向かって学び続けて歩き登っていく一日一日を、温かく根気よく、時に待ち、信じて支えていきたいと思えます。

購入図書のお知らせ

☆ 新しい図書が入りました。どうぞご利用ください。
※ 蔵書は、HP で確認できます。

	著名	著者
1	ボクのせいかも… —お母さんがうつ病になったの—	ブルス アルハ
2	お母さんどうしちゃったの… —統合失調症になったの・前編—	ブルス アルハ
3	お母さんは静養中 —統合失調症になったの・後編—	ブルス アルハ
4	笑顔と対話があふれる校内研修	石川 晋 大野 睦仁
5	心を動かす教育論	村上 育朗
6	歯・口の健康づくり	石黒 幸司 関根 幸枝 武井 典子 編 安井 利一 安室 潔 山本 広美 著
7	「ホンネ」が響き合う教室 どんぐり先生のユーモア詩を通した学級づくり	増田 修治
8	幼児期の保育と食育 保育園・幼稚園での食育のすすめ方	小川 雄二 須賀 瑞枝
9	この1冊でバッチリ成功！ 学級担任の図工授業完ぺきガイド	竹井 史 編 小学校図画工作授業づくり研究会 著
10	[共通事項]が見える 子どもがときめく音楽授業づくり	高倉 弘光
11	加害者・被害者にならないための情報セキュリティ	目黒 正俊